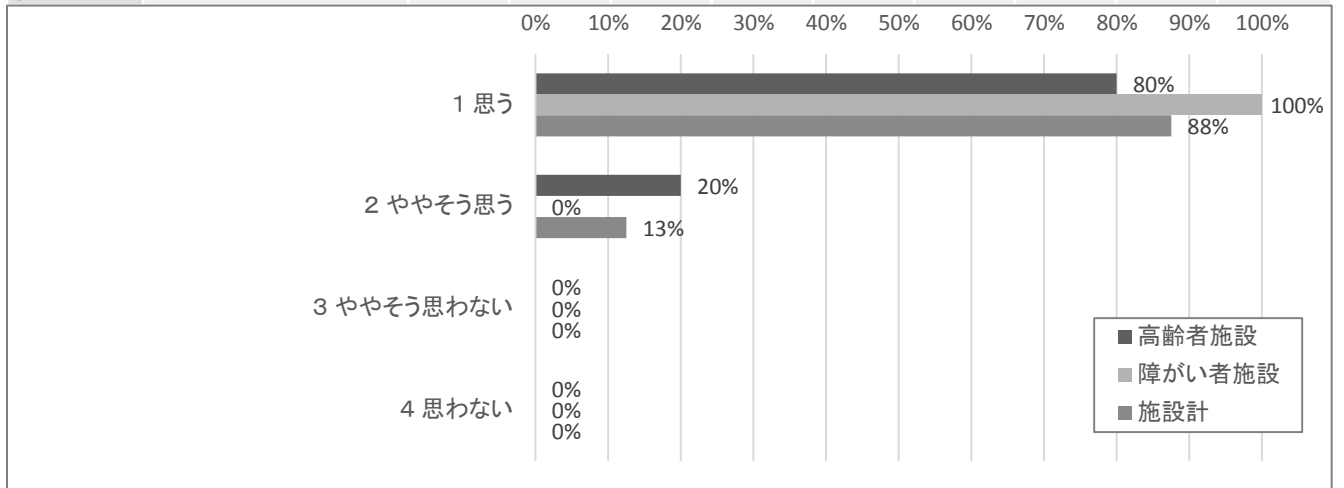


社会福祉施設における文化芸術に関する
ヒアリング調査
(集計結果)

令和3年10月

広陵町の公民館建替及び文化芸術の振興のあり方検討委員会

設問	選択肢	高齢者施設 回答数	高齢者施設 割合	回答数に 占める割合	障がい者 施設回答 数	障がい者 施設割合	回答数に 占める割合	全体数	全体割合	回答数に 占める割合
問1 文化芸術活動は、施設利用者の生活の向上、能力の発揮、社会参加につながると思いませんか。	1 思う	4	80%	80%	3	100%	100%	7	88%	88%
	2 ややそう思う	1	20%	20%	0	0%	0%	1	13%	13%
	3 ややそう思わない	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	4 思わない	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%

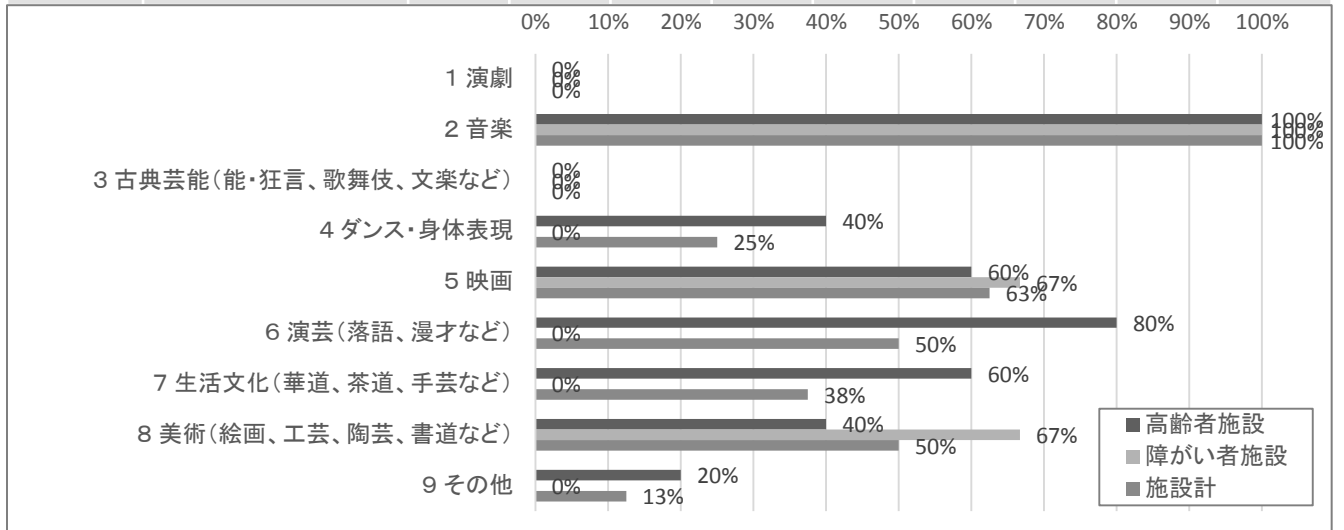


設問	選択肢	高齢者施設 回答数	高齢者施設 割合	回答数に 占める割合	障がい者 施設回答 数	障がい者 施設割合	回答数に 占める割合	全体数	全体割合	回答数に 占める割合
問2 文化芸術活動は物理的な障壁があるため、施設利用者の生活の向上、能力の発揮、社会参加につながりにくいと思われる理由は何ですか。	1 文化芸術活動は物理的な障壁があるため	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	2 文化芸術活動が日常生活の支援につながるか分からないため	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	3 文化芸術活動よりも運動等の方が効果が大きい	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	4 文化芸術活動が趣味の域を超えないため	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%

設問	選択肢	高齢者施設 回答数	高齢者施設 割合	回答数に 占める割合	障がい者 施設回答 数	障がい者 施設割合	回答数に 占める割合	全体数	全体割合	回答数に 占める割合
問3 貴施設で文化芸術活動を実施していますか。	1 実施している	5	100%	100%	3	100%	100%	8	100%	100%
	2 実施していない	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%

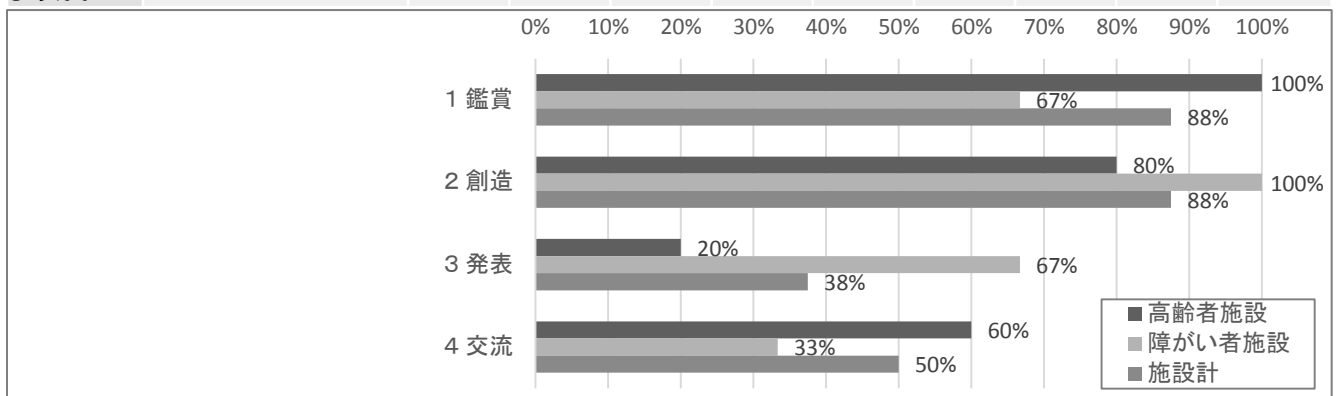
高齢者福祉施設及び障がい者福祉施設の全てにおいて、文化芸術活動が、施設利用者の生活の向上、能力の発揮、社会参加のつながりに役立つことを認め、何らかの文化芸術活動を行っている。

設問	選択肢	高齢者施設回答数	高齢者施設割合	回答数に占める割合	障がい者施設回答数	障がい者施設割合	回答数に占める割合	全体数	全体割合	回答数に占める割合
問4 貴施設が実施している文化芸術活動の分野をお答えください。	1 演劇	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	2 音楽	5	100%	25%	3	100%	150%	8	100%	160%
	3 古典芸能（能・狂言、歌舞伎、文楽など）	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	4 ダンス・身体表現	2	40%	10%	0	0%	0%	2	25%	40%
	5 映画	3	60%	15%	2	67%	100%	5	63%	100%
	6 演芸（落語、漫才など）	4	80%	20%	0	0%	0%	4	50%	80%
	7 生活文化（華道、茶道、手芸など）	3	60%	15%	0	0%	0%	3	38%	60%
	8 美術（絵画、工芸、陶芸、書道など）	2	40%	10%	2	67%	100%	4	50%	80%
	9 その他	1	20%	5%	0	0%	0%	1	13%	20%



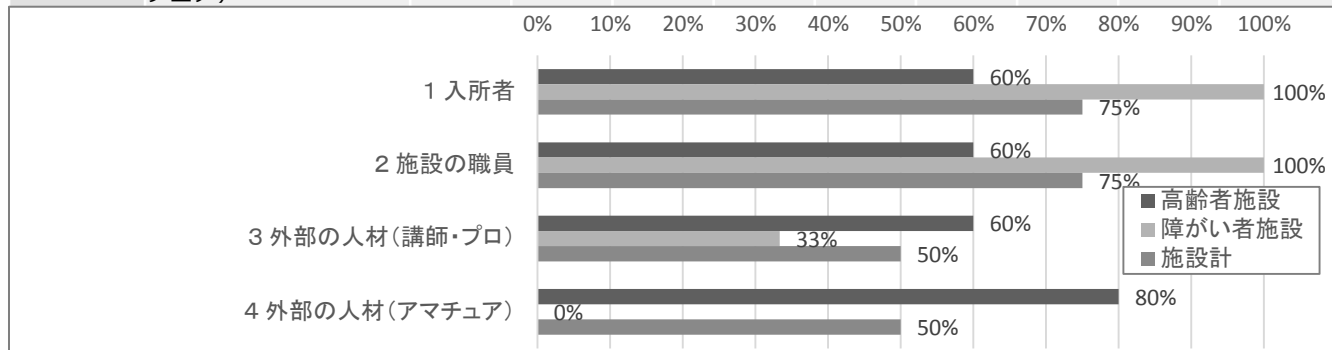
全ての施設で音楽が採り入れられ、高齢者施設では、演芸、生活文化、映画が、障がい者施設では、映画、美術が採り入れられている。対象年齢や嗜好の違いが活動内容に反映されている。

設問	選択肢	高齢者施設回答数	高齢者施設割合	回答数に占める割合	障がい者施設回答数	障がい者施設割合	回答数に占める割合	全体数	全体割合	回答数に占める割合
問5-1 貴施設での文化芸術活動の種類は、次のどれに当てはまりますか。	1 鑑賞	5	100%	38%	2	67%	25%	7	88%	33%
	2 創造	4	80%	31%	3	100%	38%	7	88%	33%
	3 発表	1	20%	8%	2	67%	25%	3	38%	14%
	4 交流	3	60%	23%	1	33%	13%	4	50%	19%

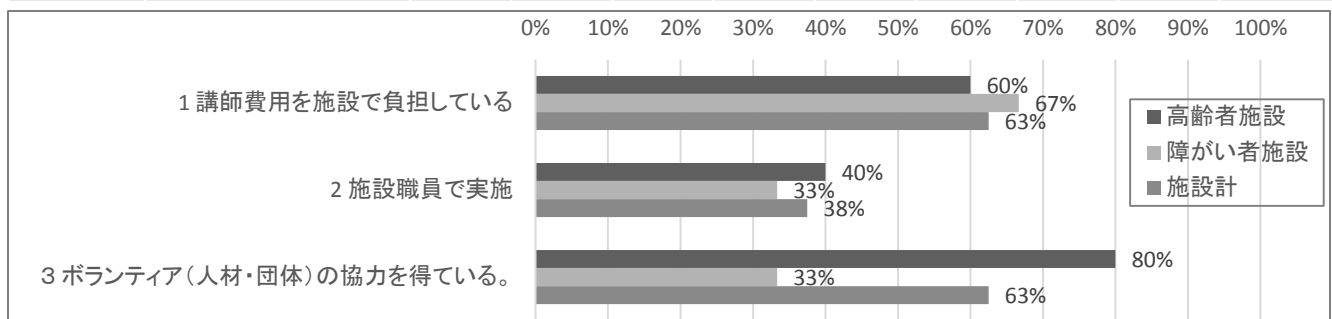


高齢者福祉施設では鑑賞が、障がい者施設では創造や創造、発表が多い。

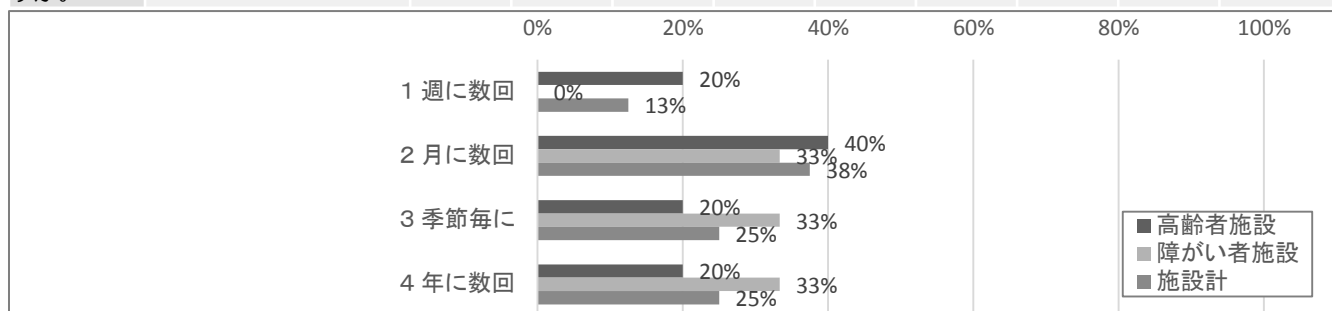
設問	選択肢	高齢者施設 回答数	高齢者施設 割合	回答数に 占める割合	障がい者 施設回答 数	障がい者 施設割合	回答数に 占める割合	全体数	全体割合	回答数に 占める割合
問6 貴施設での 文化芸術活 動は誰が主 体となって いますか。	1 入所者	3	60%	23%	3	100%	43%	6	75%	30%
	2 施設の職員	3	60%	23%	3	100%	43%	6	75%	30%
	3 外部の人材（講師・プロ）	3	60%	23%	1	33%	14%	4	50%	20%
	4 外部の人材（アマチュア）	4	80%	31%	0	0%	0%	4	50%	20%

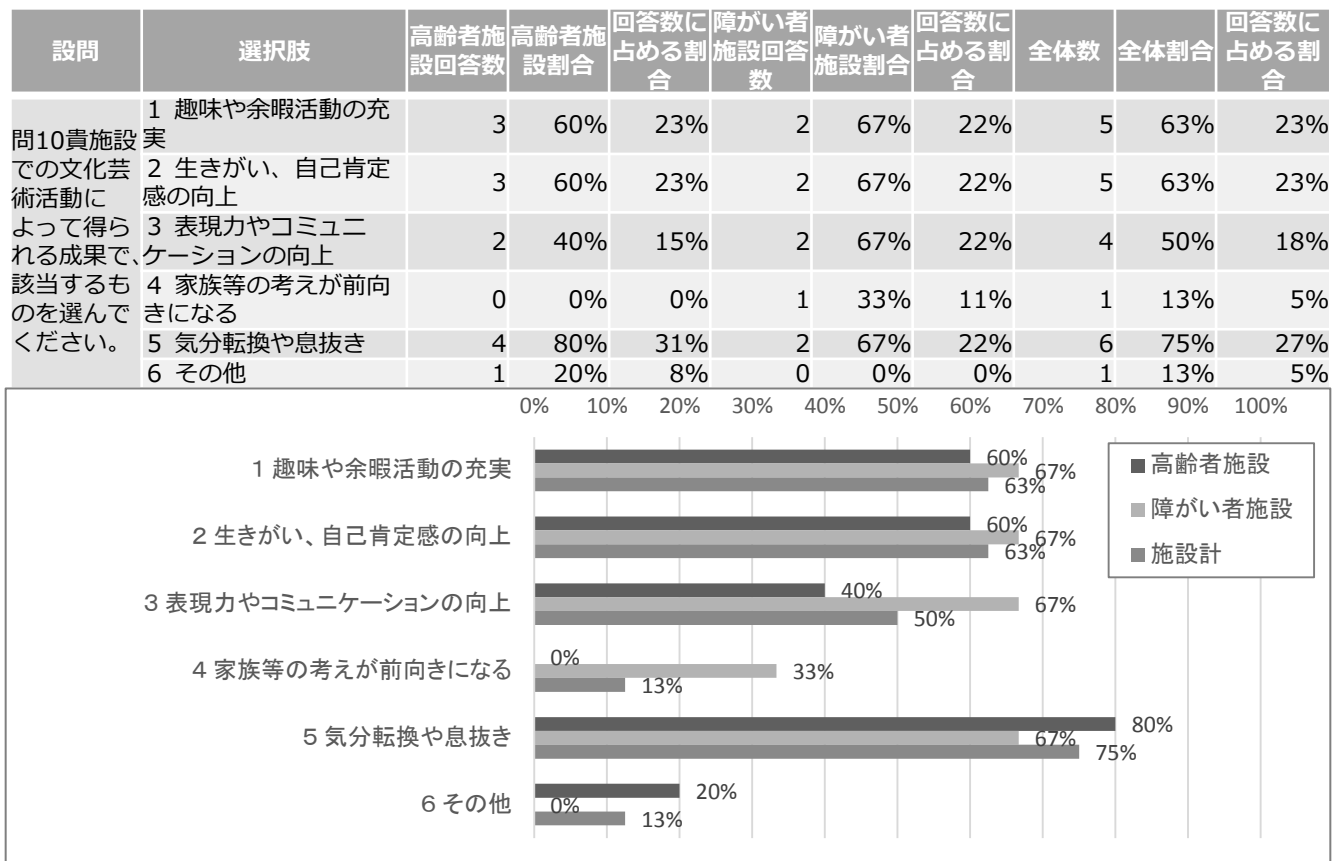
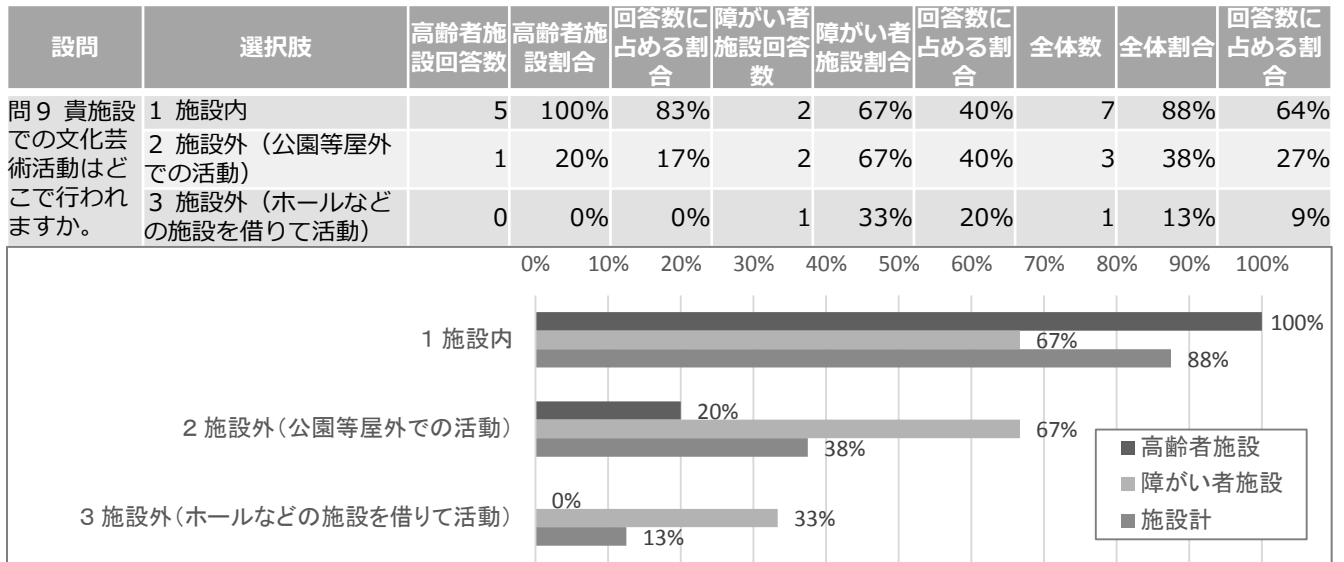


設問	選択肢	高齢者施設 回答数	高齢者施設 割合	回答数に 占める割合	障がい者 施設回答 数	障がい者 施設割合	回答数に 占める割合	全体数	全体割合	回答数に 占める割合
問7 貴施設での 文化芸術活 動実施に当 たって、講 師費用等の 費用面はど のようにさ れていますか。	1 講師費用を施設で負担している	3	60%	33%	2	67%	50%	5	63%	38%
	2 施設職員で実施	2	40%	22%	1	33%	25%	3	38%	23%
	3 ボランティア（人材・団体）の協力を得ている。	4	80%	44%	1	33%	25%	5	63%	38%



設問	選択肢	高齢者施設 回答数	高齢者施設 割合	回答数に 占める割合	障がい者 施設回答 数	障がい者 施設割合	回答数に 占める割合	全体数	全体割合	回答数に 占める割合
問8 貴施設での 文化芸術活 動の頻度は どれぐらい されていますか。	1 週に数回	1	20%	20%	0	0%	0%	1	13%	13%
	2 月に数回	2	40%	40%	1	33%	33%	3	38%	38%
	3 季節毎に	1	20%	20%	1	33%	33%	2	25%	25%
	4 年に数回	1	20%	20%	1	33%	33%	2	25%	25%



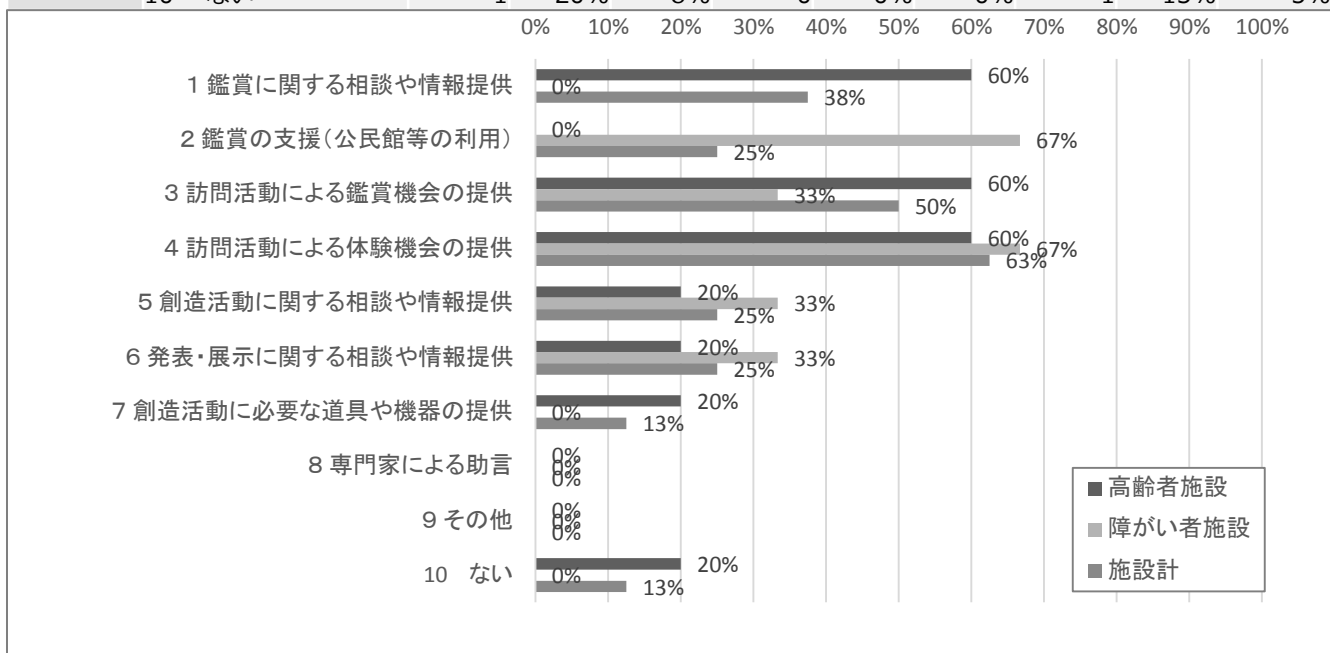


各施設とも文化芸術は、入所者や施設の職員が主体となり、高齢者施設では外部人材（アマチュア）、外部講師（講師・プロ）が続き、障がい者施設では、外部の人材（講師・プロ）となり、アマチュア人材が主体になることがない。

費用面では、高齢者施設ではボランティアの協力が大きく、施設での負担、職員が実施の順となり、障がい者施設では、施設での負担の次に職員が実施・ボランティアの協力が同率となっており、ボランティアの参画が高齢者施設よりも少ない傾向にある。

また、得られる成果の面では、趣味や余暇活動、生きがい、自己肯定感の向上や気分転換や息抜きの効果が得られるとの回答が多かったが、障がい者福祉施設では表現力やコミュニケーションの向上や、家族等の考えが前向きとなるといった効果が得られている。

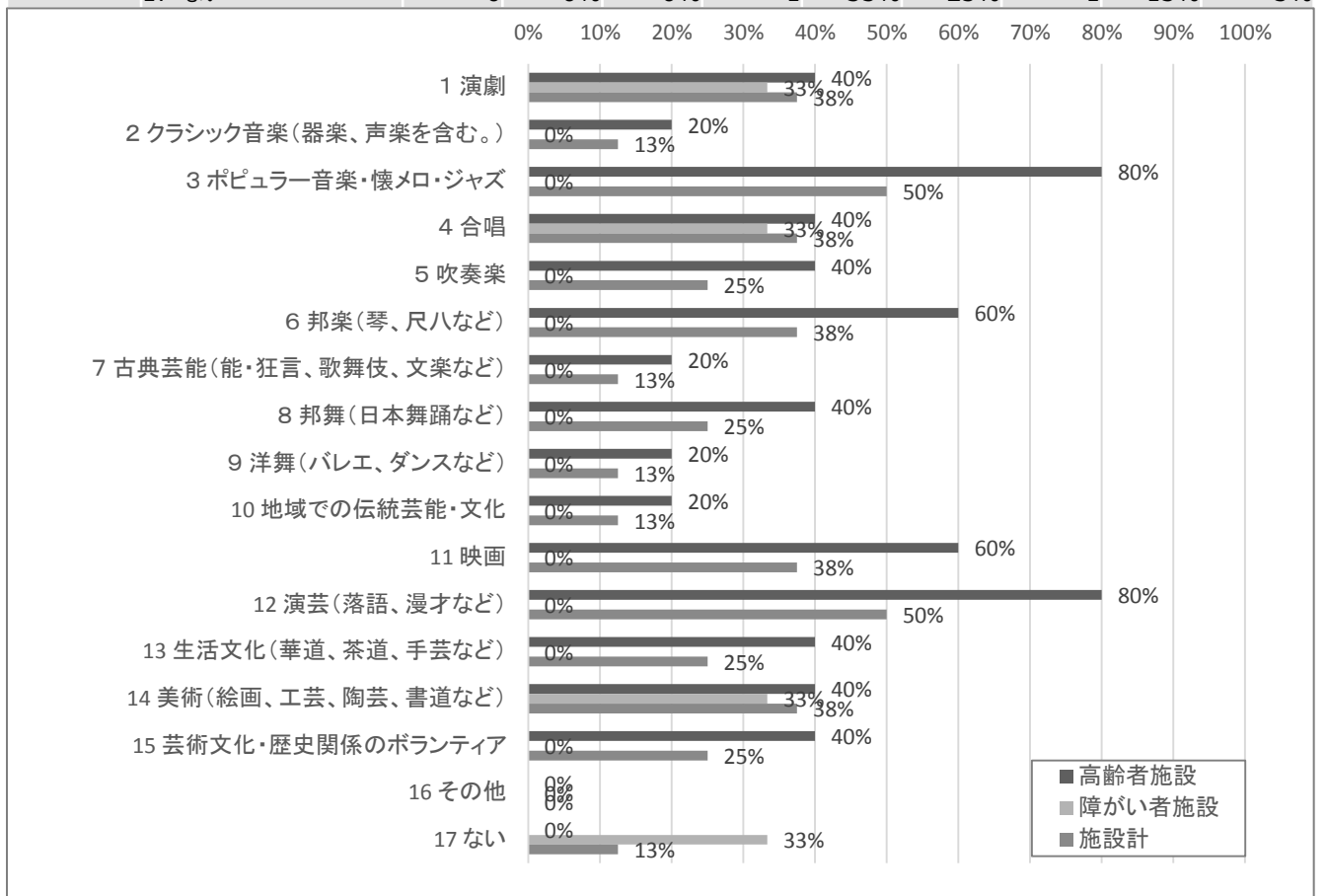
設問	選択肢	高齢者施設回答数	高齢者施設割合	回答数に占める割合	障がい者施設回答数	障がい者施設割合	回答数に占める割合	全体数	全体割合	回答数に占める割合
問11 貴施設への文化芸術活動に対する支援・協力について、該当するものはどれですか。	1 鑑賞に関する相談や情報提供	3	60%	23%	0	0%	0%	3	38%	15%
	2 鑑賞の支援（公民館等の利用）	0	0%	0%	2	67%	29%	2	25%	10%
	3 訪問活動による鑑賞機会の提供	3	60%	23%	1	33%	14%	4	50%	20%
	4 訪問活動による体験機会の提供	3	60%	23%	2	67%	29%	5	63%	25%
	5 創造活動に関する相談や情報提供	1	20%	8%	1	33%	14%	2	25%	10%
	6 発表・展示に関する相談や情報提供	1	20%	8%	1	33%	14%	2	25%	10%
	7 創造活動に必要な道具や機器の提供	1	20%	8%	0	0%	0%	1	13%	5%
	8 専門家による助言	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	9 その他	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	10 ない	1	20%	8%	0	0%	0%	1	13%	5%



文化芸術活動に対する支援については、鑑賞に関する情報提供、訪問による鑑賞機会の提供や体験機会の提供が高齢者施設に多く、障がい者施設では鑑賞の支援と、訪問活動による体験機会の提供を求めるものが多い。

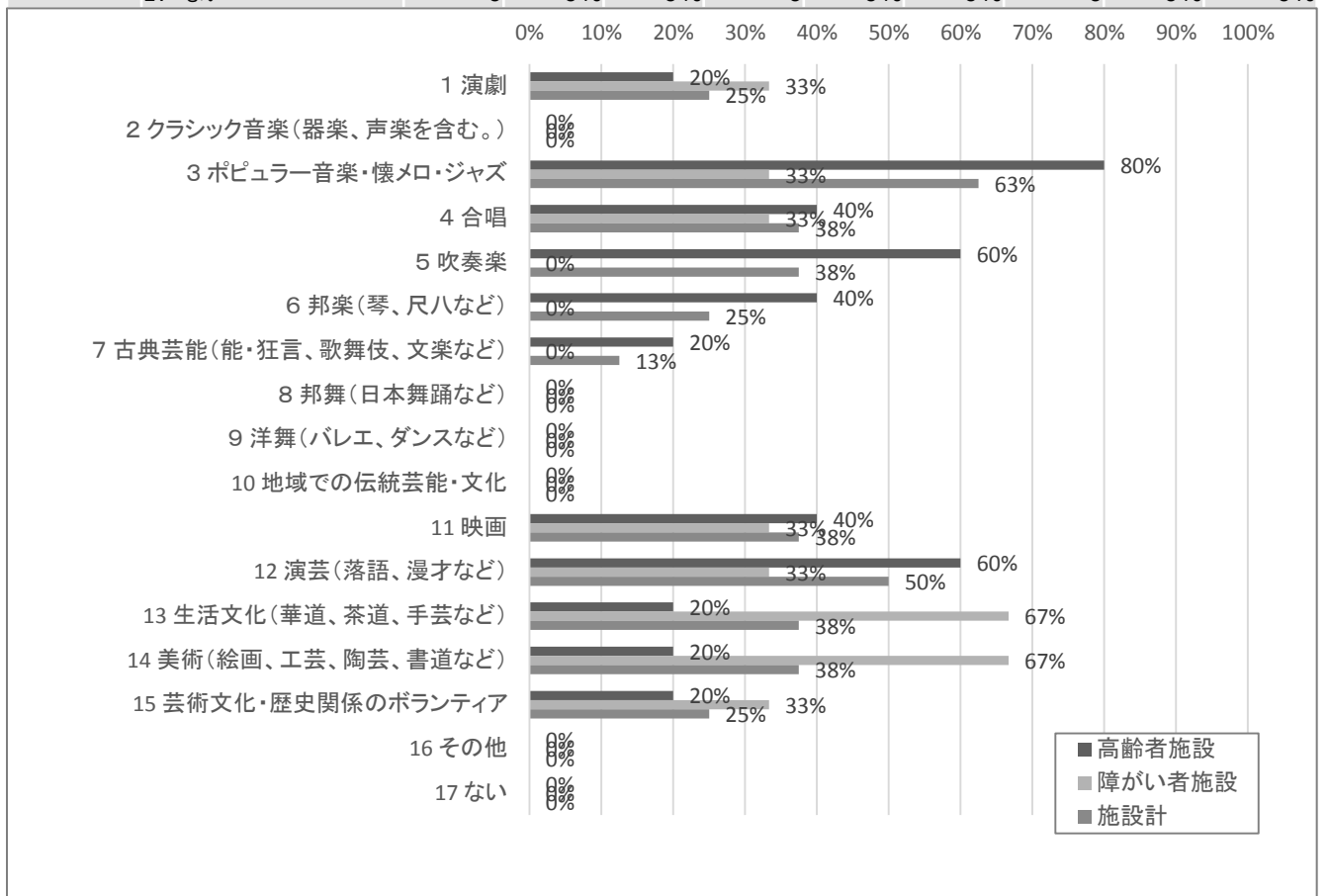
設問	自由回答
問12 貴施設への文化芸術活動に対する支援・協力を受けているもので課題と考えられることは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者合っているのか分からないときあがる。 ・情報が不足している（マッチングが必要） ・自己満足のための来訪などがあり、「利用者と一緒に楽しむ」という観点に欠けるものがある。 ・アマチュア団体の芸術レベルの課題がある（準備不足であったり質が低いものがある。）。 ・「慰問」という考え方に違和感がある。 ・ボランティア団体の情報（団体内容、担当者、連絡先等）があれば直接相談できる。 ・認知症の問題があり、難しい内容は理解できなかったり、短時間しか集中できなかったりする。

設問	選択肢	高齢者施設 回答数	高齢者施設 割合	回答数に 占める割合	障がい者 施設回答 数	障がい者 施設割合	回答数に 占める割合	全体数	全体割合	回答数に 占める割合
問13-1 鑑賞や体験 に関する支 援を受けて いるものは 何ですか。	1 演劇	2	40%	6%	1	33%	25%	3	38%	8%
	2 クラシック音楽（器 楽、声楽を含む。）	1	20%	3%	0	0%	0%	1	13%	3%
	3 ポピュラー音楽・懐 メロ・ジャズ	4	80%	13%	0	0%	0%	4	50%	11%
	4 合唱	2	40%	6%	1	33%	25%	3	38%	8%
	5 吹奏楽	2	40%	6%	0	0%	0%	2	25%	6%
	6 邦楽（琴、尺八な ど）	3	60%	9%	0	0%	0%	3	38%	8%
	7 古典芸能（能・狂言、 歌舞伎、文楽など）	1	20%	3%	0	0%	0%	1	13%	3%
	8 邦舞（日本舞踊な ど）	2	40%	6%	0	0%	0%	2	25%	6%
	9 洋舞（バレエ、ダン スなど）	1	20%	3%	0	0%	0%	1	13%	3%
	10 地域での伝統芸能・ 文化	1	20%	3%	0	0%	0%	1	13%	3%
	11 映画	3	60%	9%	0	0%	0%	3	38%	8%
	12 演芸（落語、漫才な ど）	4	80%	13%	0	0%	0%	4	50%	11%
	13 生活文化（華道、茶 道、手芸など）	2	40%	6%	0	0%	0%	2	25%	6%
	14 美術（絵画、工芸、 陶芸、書道など）	2	40%	6%	1	33%	25%	3	38%	8%
	15 芸術文化・歴史関係 のボランティア	2	40%	6%	0	0%	0%	2	25%	6%
	16 その他	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	17 ない	0	0%	0%	1	33%	25%	1	13%	3%



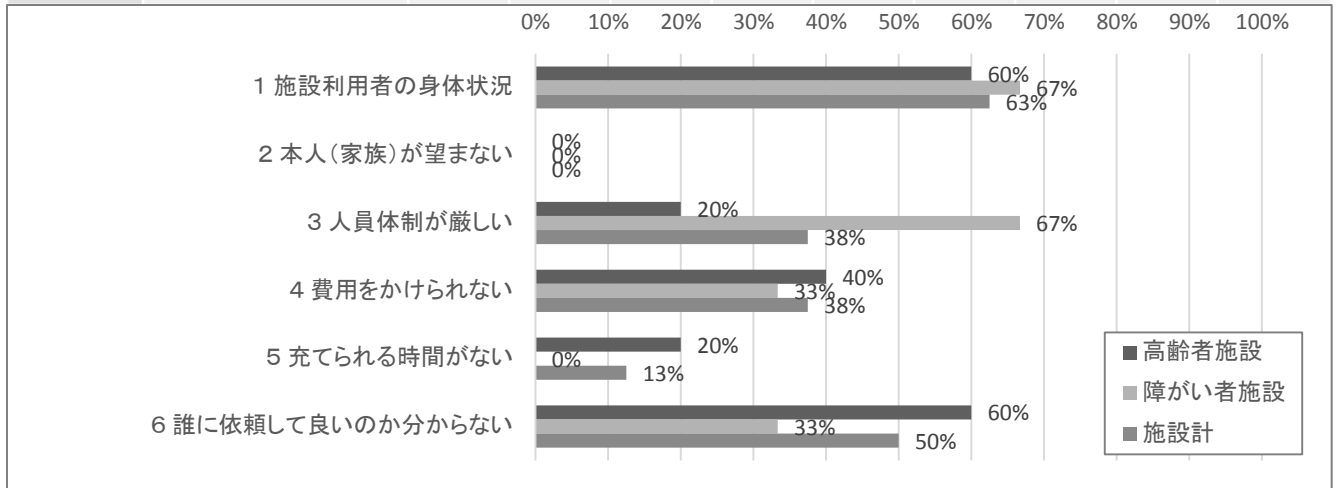
高齢者施設では、ポピュラー音楽、演芸、映画や邦楽、邦舞が多い傾向がある一方、障がい者施設では演劇、合唱及び美術がある一方、「ない」と回答した施設が存在している。

設問	選択肢	高齢者施設 回答数	高齢者施設 割合	回答数に 占める割合	障がい者 施設回答 数	障がい者 施設割合	回答数に 占める割合	全体数	全体割合	回答数に 占める割合
問13-2 鑑賞や体験 に関する支 援を受けたい ものは何 ですか。	1 演劇	1	20%	5%	1	33%	10%	2	25%	6%
	2 クラシック音楽（器楽、声楽を含む。）	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	3 ポピュラー音楽・懐メロ・ジャズ	4	80%	19%	1	33%	10%	5	63%	16%
	4 合唱	2	40%	10%	1	33%	10%	3	38%	10%
	5 吹奏楽	3	60%	14%	0	0%	0%	3	38%	10%
	6 邦楽（琴、尺八など）	2	40%	10%	0	0%	0%	2	25%	6%
	7 古典芸能（能・狂言、歌舞伎、文楽など）	1	20%	5%	0	0%	0%	1	13%	3%
	8 邦舞（日本舞踊など）	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	9 洋舞（バレエ、ダンスなど）	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	10 地域での伝統芸能・文化	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	11 映画	2	40%	10%	1	33%	10%	3	38%	10%
	12 演芸（落語、漫才など）	3	60%	14%	1	33%	10%	4	50%	13%
	13 生活文化（華道、茶道、手芸など）	1	20%	5%	2	67%	20%	3	38%	10%
	14 美術（絵画、工芸、陶芸、書道など）	1	20%	5%	2	67%	20%	3	38%	10%
	15 芸術文化・歴史関係のボランティア	1	20%	5%	1	33%	10%	2	25%	6%
	16 その他	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	17 ない	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%



今後受けたい支援については、高齢者施設ではポピュラー音楽、吹奏楽、演芸と続き、障がい者施設では、生活文化や美術など、日常の創作活動に結びつくものが多い傾向にある。

設問	選択肢	高齢者施設 回答数	高齢者施設 割合	回答数に 占める割合	障がい者 施設回答 数	障がい者 施設割合	回答数に 占める割合	全体数	全体割合	回答数に 占める割合
問14 施設利用者が文化芸術に触れるに当たって障壁となるものは何ですか。	1 施設利用者の身体状況	3	60%	30%	2	67%	33%	5	63%	31%
	2 本人(家族)が望まない	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	3 人員体制が厳しい	1	20%	10%	2	67%	33%	3	38%	19%
	4 費用をかけられない	2	40%	20%	1	33%	17%	3	38%	19%
	5 充てられる時間がない	1	20%	10%	0	0%	0%	1	13%	6%
	6 誰に依頼して良いのか分からない	3	60%	30%	1	33%	17%	4	50%	25%



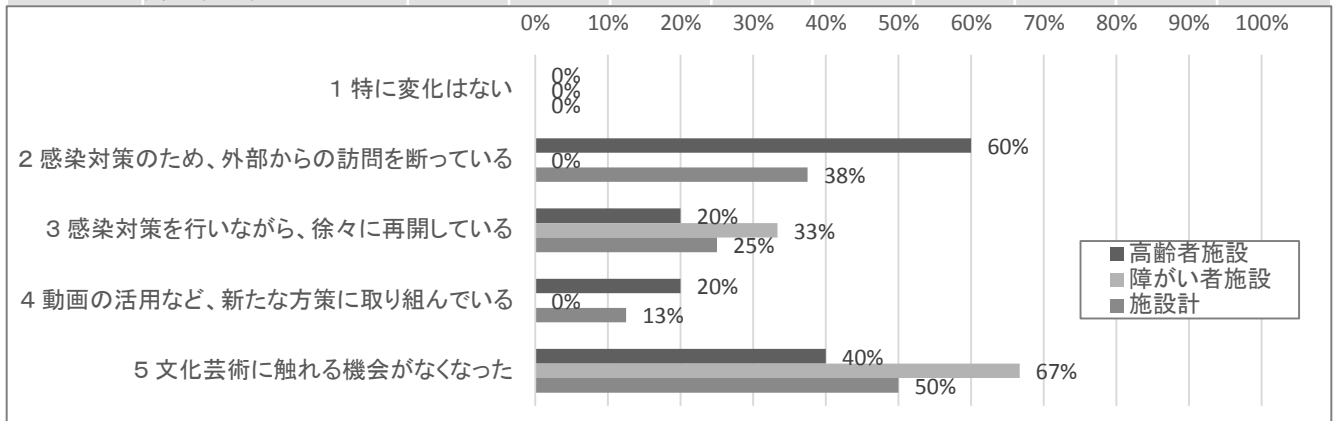
文化芸術に触れるに当たって障壁については、高齢者施設、障がい者施設とも身体状況が障壁になるとの回答があった。とりわけ高齢者施設では認知症や寝たきりの利用者もおられることや、年々高齢化が進んでいることも影響が大きい。

障がい者施設では、人員体制が厳しいことも影響している。

また、誰に依頼して良いのか分からないというものもあり、文化芸術活動を行っている人の情報が求められている。

設問	自由回答
問15 施設利用者が文化芸術に触れるに当たって、特に課題と考えられることは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部ボランティアに来ていただいて対応できる時間帯が限られてくる。 ・活動の場所が限定的である。 ・身体状況の差が大きく、平等に楽しんでいただけるための配慮が必要 ・入所者の平等性（鑑賞・体験とも体調等に大きく左右される。）

設問	選択肢	高齢者施設 回答数	高齢者施設 割合	回答数に 占める割合	障がい者 施設回答 数	障がい者 施設割合	回答数に 占める割合	全体数	全体割合	回答数に 占める割合
問16 新型コロナウィルス感染症の拡大によって、施設利用者が文化芸術に触れる機会はどうなりましたか。	1 特に変化はない	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	2 感染対策のため、外部からの訪問を断っている	3	60%	43%	0	0%	0%	3	38%	30%
	3 感染対策を行いながら、徐々に再開している	1	20%	14%	1	33%	33%	2	25%	20%
	4 動画の活用など、新たな方策に取り組んでいる	1	20%	14%	0	0%	0%	1	13%	10%
	5 文化芸術に触れる機会がなくなった	2	40%	29%	2	67%	67%	4	50%	40%



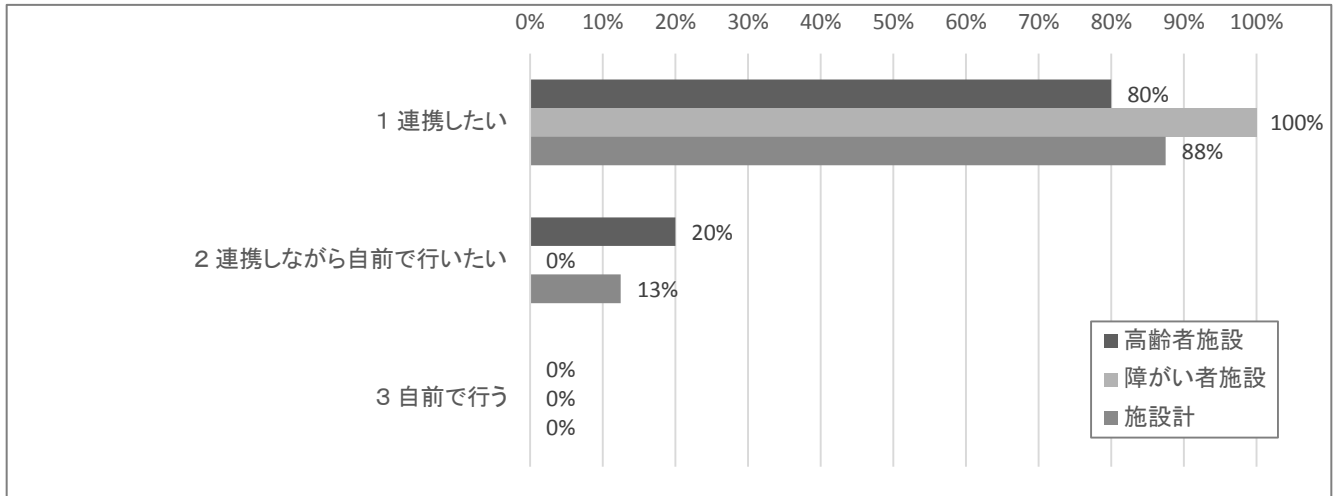
設問	選択肢	高齢者施設 回答数	高齢者施設 割合	回答数に 占める割合	障がい者 施設回答 数	障がい者 施設割合	回答数に 占める割合	全体数	全体割合	回答数に 占める割合
問17 新型コロナウィルス感染症が終息したら、施設利用者が文化芸術に触れる機会を増やしたいですか。	1 文化芸術に触れる機会を増やしたい	5	100%	100%	3	100%	100%	8	100%	100%
	2 文化芸術に触れる機会を増やしたくない	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%
	3 どちらでもない	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%

新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、高齢者施設の60%が感染予防のため、外部からの訪問を断っているばかりでなく、文化芸術に触れる機会がなくなったと回答した施設もある。

ヒアリングの中には、中学生の職場体験学習がきっかけとなり、施設で体験した中学生を中心に、自主的な訪問・交流が始まったが、新型コロナウイルス感染症の影響で絶たれてしまったとの声もあった。

しかし、全ての施設において、新型コロナウイルス感染症が終息すれば「文化芸術に触れる機会を増やしたい。」と回答していることから、今後の文化芸術進行のあり方を検討する上でも重要である。

設問	選択肢	高齢者施設回答数	高齢者施設割合	回答数に占める割合	障がい者施設回答数	障がい者施設割合	回答数に占める割合	全体数	全体割合	回答数に占める割合
問18 施設利用者が文化芸術に触れる機会や活動の面において、行政との連携を行いたいですか。	1 連携したい	4	80%	80%	3	100%	100%	7	88%	88%
	2 連携しながら自前で行いたい	1	20%	20%	0	0%	0%	1	13%	13%
	3 自前で行う	0	0%	0%	0	0%	0%	0	0%	0%



設問	自由回答
問19 行政との連携を行うに当たって、どのような内容で連携したいですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・町の文化祭に出展していたが、高齢化・重度化が進行して参加者も限定されてきているが、その他の催し物の案内等があれば検討したい。 ・健康推進に力を入れている。地域の公民館を借りて20人以上集まってもらい栄養面の指導、体の仕組みなどを説明し地域の方がずっと健康でいられるように健康教室を開催している。対象は65歳以上の方。健康の意味を知ってもらうことが大事、講師には、管理栄養士、歯科療養士、運動指導員